

# 調査の概要

## 調査の概要

### 1 調査の趣旨

平成27年度中に策定する千葉県男女共同参画計画（第4次）の基礎資料を得るため、県民対象の意識調査を実施し、本県の男女共同参画の意識の変化や、実態を把握するとともに、課題の解析等を行う。

### 2 調査内容

- (1) 男女共同参画に関する意識等
- (2) 家庭生活
- (3) 教育
- (4) 人権
- (5) 働き方
- (6) 仕事と家庭生活の両立
- (7) 少子・高齢化
- (8) 社会活動などへの参画
- (9) 属性

### 3 調査設計

- (1) 調査地域 千葉県全域
- (2) 調査対象 千葉県在住の満20歳以上の男女
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 標本抽出法 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法

層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し(層化)各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して(二段)各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

- (5) 調査方法 郵送により調査票・返信用封筒を配付し、郵送により回収
- (6) 調査期間 平成26年10月3日～11月1日

### 4 回収結果

回収率	799	(40.0%)
女性	442	
男性	343	
無回答	14	

# 調査の概要

## 5 標本抽出法

調査対象 千葉県在住の満20歳以上の男女  
標本数 2,000  
地点数 (市部96・郡部4) 計100地点  
抽出法 層化二段無作為抽出法

### 【層化】

1 県内を次の11地域に分類した。

地域名	該当市郡名
千葉地域	千葉市、市原市
葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
香取地域	香取市、香取郡
海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
長生地域	茂原市、長生郡
夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市



## 調査の概要

2 各地域内においては、さらに市部、郡部に分け、層とした。

### 【標本数の配分】

各地域・市郡規模別の層における満 20 歳以上の人口(平成 25 年 4 月 1 日現在の推定数)に対して、2,000 の標本数を比例配分した。

### 【抽出】

平成 22 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第一抽出単位として使用した。

(1) 調査地点の抽出は、調査地点が 2 地点以上割当てられた層については、

$$\left[ \frac{\text{層における 20 歳以上国勢調査人口の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right]$$

を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。

(2) 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成 22 年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。

(3) 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内(町・丁目・番地等を指定)を住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果、各地域・市郡規模別(層別)の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地 域	市 部	郡 部	計
千葉地域	1,016,645	0	1,016,645
	396(20)	0	396(20)
葛南地域	1,310,949	0	1,310,949
	510(25)	0	510(25)
東葛飾地域	1,198,781	0	1,198,781
	466(23)	0	466(23)
印旛地域	554,320	37,032	591,352
	216(11)	14(1)	230(12)
香取地域	70,073	31,902	101,975
	27(1)	13(1)	40(2)
海匝地域	148,993	0	148,993
	58(3)	0	58(3)
山武地域	139,738	43,509	183,247
	54(3)	17(1)	71(4)
長生地域	77,422	54,442	131,864
	30(2)	21(1)	51(3)
夷隅地域	52,825	15,984	68,809
	21(1)	6(0)	27(1)
安房地域	108,541	7,775	116,316
	42(2)	3(0)	45(2)
君津地域	272,771	0	272,771
	106(5)	0	106(5)
計	4,951,058	190,644	5,141,702
	1,926(96)	74(4)	2,000(100)

上段：基本単位区数

下段：標本数(調査地点数)

## 調査の概要

### 6 報告書の見方

#### 本報告書を読む際の留意点

- (1) 結果はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分率の合計が100%にならないことや、個々の比率の合計とその小計の数値が一致しないことがある。
- (2) 数値やグラフ中の( )内の数値は回答者総数(又は、分類別の該当者数)を示し、回答比率は、これを100%として算出した。
- (3) 標本誤差は、回答者数と得られた結果の比率によって異なるが、層化二段無作為抽出法による場合の誤差(信頼度95%)は次の式によって得られる。

$$\text{標本誤差率} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

N = 母集団数 (= 5,141,702 人、基準日平成 25 年 4 月 1 日現在の 20 歳以上人口の推定数)

n = 有効回答数 (799 件)

P = 回答の比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
799	± 3.0 %	± 4.0 %	± 4.6 %	± 4.9 %	± 5.0 %
500	± 3.8 %	± 5.1 %	± 5.8 %	± 6.2 %	± 6.3 %
200	± 6.0 %	± 8.0 %	± 9.2 %	± 9.8 %	± 10.0 %
100	± 8.5 %	± 11.3 %	± 13.0 %	± 13.9 %	± 14.1 %
50	± 12.0 %	± 16.0 %	± 18.3 %	± 19.6 %	± 20.0 %

- (4) 1人の対象者に2つ以上の回答を認めた設問では、百分率(%)の合計は、100%を超える場合がある。
- (5) 分析の軸(縦軸)としたプロフィールや設問は、無回答を除いているため、各プロフィールの基数の合計が全体と一致しない場合がある。また、分析によっては、必要な選択肢を抽出して使用したり、複数の選択肢をまとめて使用したりしているところもある。
- (6) グラフや表のタイトルなどは、なるべく調査票そのままの表現を用いているが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。
- (7) 本調査は、平成21年度に行った「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査」に続くものである。
- (8) 国で実施した調査との比較については、国は個別面接調査で実施しているため、「無回答」がないことから、正確な比較は行えないため、参考とする。